

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2014-1-659
研究課題名	老年科診療記録を利用したデータベースの後ろ向き解析
研究期間	西暦 2013 年 11 月（倫理委員会承認後）～ 2015 年 11 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療録（紙媒体・診療支援端末） _____ ）
上記材料の採取期間	西暦 2003 年 4 月～ 2014 年 12 月
意義、目的	<p>高齢者は、多くの疾患を合併することが多いが、その症状は、若年者のような疾患特異的な症状を呈するとは限らず、疾患を超えた高齢者特有の症状を呈することが多い。若年者の多くの疾患の診断法や治療、予防について、様々な大規模研究が進行している現在でも、高齢者のこれらの症候については、実態さえ十分に把握されていないのが現状である。高齢者には、従来のどのような診断名にも合致しないような症候の一群を示す症例が多数存在し、治療、管理を研究するうえでは、より細かな病状の把握と自然経過の観察は、現在もなお、重要な情報でもある。</p> <p>本研究の目的は、高齢者を中心に診療している老年科の診療録を利用して、高齢者の症候の実態、自然経過、薬剤使用状況を把握することである。</p>
方法	<p>本院の入院患者および外来患者のこれまでの診療記録、検査・調査記録を調査し、背景情報（性別・生年月日など）や主要な検査結果（MRI・SPECTなどの画像検査情報や採血結果）および高齢者総合的機能評価結果（身体機能調査項目・精神機能調査項目・生活関連調査項目）、薬剤使用状況（処方元、使用薬剤数、使用時点、有害事象、管理情報など）をデータベース化する。データベースは匿名化処理を施し、直接個人が同定できないようにする。</p> <p>本研究で確立されるデータベースは、当施設で行う検討に加え、東京大学を総括施設とした多施設共同研究の一部としても利用する。総括施設へのデータの送付方法は個人情報保護の観点から各施設で連結可能匿名化し、連結表は各施設で保管し外部へ持ち出さないようにしてデータだけをデータセンターへ送る。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学病院老年科 022-717-7182（担当：富田尚希）